

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	Viet jet air	手配	Sky scanner ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→大阪 →バンコク→ハノイ	到着 時刻	13 時ごろ 【※移動時間（約 8 時間）】
大学（寮）への 移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関（ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	空港内のタクシーは基本英語が使えない上に、荷物を見て外国人だとわかると倍額ほど請求してくるのでケータイアプリ「Grab」をインストールしておき、その値段に 5 万ドンプラスほどを提案するとよい。ベトナム語の数字は言えると便利。		
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他（シェアハウス ）	住居 手配	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で その他（ ）
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 その他（ ）	ルーム メイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他（他国の様々な職種）
住居の申込手順	FB で仲介業者の紹介している部屋から立地と家賃からいいものを探し、連絡を取り、直接見てからの方がよい。心配であれば私から現地の友達に探してもらうことも可能なので直接私に連絡してください。		
住居でのトラブル および解決方法	家のマネージャーとはFBで連絡先を交換すると思うのでトラブルが起こると基本その人に連絡を取る。人によっては対応が遅いので気を付ける。		
大学への交通手段 （※費用がかかれば費用も）	基本 Grab を使う。GrabBike は安いけど多少危険があるので Taxi の方がよい。タクシーは初乗り無しで、大体 5 km 300 円ほど		
生活費および内訳 （概算を円換算）	生活費計 4～500 \$ / 月 （生活費内訳） 住居費：300 \$ / 光熱費：50 \$ / 通学費：4 \$ 食費：3 \$ / 通信費：10 \$ / 書籍代：10 \$ その他：（娯楽費 ） 90 \$ ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの：50 \$ 前後 （徴収された費用の名目：旅行代（希望で参加） ）		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス （口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話は SIM カードを現地で買って、データ通信カードを別で買うとデータ通信ができるようになる。Viettel のものを買えばホーチミンでも使える。 ・ Grab は必須のアプリ ・ カード支払いはローカルの店以外だと多くの場所で使える。 		

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00			授業				
8:00			授業				
9:00	起床		授業		起床		
10:00	家出	起床	カフェ	起床	朝食		
11:00	授業	朝食	カフェ	朝食	PC		↓
12:00	授業	PC	カフェ	家出	昼食		友人と旅行
13:00	授業	昼食	昼食	授業	友人と旅行		シャワー
14:00	授業	散策	カフェ	授業	友人と旅行		勉強
15:00	授業	散策	授業	授業	↓		勉強
16:00	帰宅	帰宅	授業	授業			勉強
17:00	シャワー	勉強	授業	授業			夕食
18:00	カフェで勉強	友人とご飯	帰宅	授業			PC
19:00	カフェで勉強	友人とご飯	シャワー	友人とご飯			PC
20:00	帰宅	友人とご飯	勉強	友人とご飯			勉強
21:00	PC	友人とご飯	勉強	友人とご飯			勉強
22:00	PC	友人とご飯	PC	友人とご飯			就寝
23:00	シャワー	シャワー	就寝	PC			
24:00	就寝	就寝		就寝			

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

語学に関して。ベトナム語は正直事前にした勉強では自己紹介を丸覚えするくらいしかできなかつたのですが、向こうで暮らすうえで必要な語学力は自然と身に付きました。そこを幹として枝葉を付けていく感じで学びました。英語は日常生活では通じないので学校にいる時と友人と遊んでいるとき、勉強しているときに使いました。実際ベトナム人の英語は訛りが強くて初めはあまり聞こえづらく、慣れても日本に帰ってそのなまりの英語は聞かないのでその点英語を学びたいだけの人には英語が母国語の国には負けると思います。しかし、その分難しすぎる言い回しなどはないので慣れれば会話はしやすいです。また、授業は難易度がかなり高いので自分で勉強しなければついていけません。自分でのスケジュール管理が重要になってきます。そして、ハノイはまだ日本人の人口がそれほど多くなく、駐在の方や現地で起業された方とお話しする機会が多くあり、日本ではなかなかできない経験ができると思います。就活についても深く考えられました。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

東南アジア留学先は交換留学としては今のところ貿易大学としか提携していないはずなので域内では選択の余地はないと思いますが、この学校は設備としてはやはり新興国なものもあって熊大よりもかなり劣っています。しかし、貧富の差が激しいこの国だからこそ授業料の免除をとろうと必死で勉強する学生が多いので刺激は多く、またグループワークがほとんどの授業で組み込まれているため手が抜けないので自分を律するにはよい環境だと思います。大学内のプログラムに関しては、留学生の受け入れ環境はそこまで整っていない、文化の違いなのかシステムも緩い部分も見られます（追記：年々整ってきているようで私の時よりかはいい待遇になっているかと思われます）。生活全般もなかなか日本とはかけ離れたもので、人との接し方も文化のギャップでストレスはあると思います。私はそれを経験し、理解することこそ留学の本分ではないかと思います。語学を身につけたいと留学をする人もありますが、英語であれば日本でも十分学べる環境が整っています。特殊な研究やその場でしか行えない目標があれば別ですが、ベトナムは、文化の違いを経験し全く異なる背景で生きてきた人たちと出会うことができる機会にかなり恵まれていると1年間を通して思いました。

留学を通しての感想

留学中、始まって半年過ぎたころに1度ホームシックのような感じになりました。ベトナム留学で1番精神的にしんどかったのは、友達が一斉に帰る1月ごろです。新興国への留学というのはまだあまりメジャーではなく来る人がいても基本みな半年。私は8月からの1年留学だったので仲のいい日本人・韓国人・フランス人の友人たちが年明けごろに帰ってしまい、新しく友人ができる前に始まったテト正月（旧正月：2月ごろ）。1か月弱ハノイのほぼすべての機能が停止して市内の人間はほとんど故郷へ帰省します。

また、留学に行くと、アジア系の方は特に無理をして西洋系の友達しか作らないようにしてアジア系と話さない人がいますが、留学期間中のモチベーションや精神衛生を保つにはやはり文化の似た気楽に話せる友人は必要だと思います。個人的には、無理をしないような留学にしようと思っていましたが、中途半端にアジア人と距離を作ろうとして、きつい思いをした時期もありました。結果やる気を失って墮落した生活を送ってしまったりするので、自分の心と体の健康を第一に自分のしたい学びをしてきてほしいです。